



2019年9月25日

各位

会社名 株式会社ディー・エル・イー
代表者名 代表取締役社長 勝山 倫也
(コード番号：3686 東証第一部)
問合せ先 執行役員 松本 博数
(TEL. 03-3221-3980)

支配株主等に関する事項について

当社の支配株主等に関する事項は、下記のとおりとなりますので、お知らせいたします。

記

1. 親会社、支配株主（親会社を除く。）又はその他の関係会社の商号等

(2019年6月30日現在)

名称	属性	議決権所有割合 (%)			発行する株券が上場されている 金融商品取引所等
		直接所有分	合算対象分	計	
朝日放送グループ ホールディングス株式会社	親会社	51.97	—	51.97	株式会社東京証券取引所 市場第一部

2. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

(1) 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付け、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的关系

朝日放送グループホールディングス株式会社は当社の議決権の 51.97%を所有する親会社であります。当社は、IP の新規開発から、IP を活用したマーケティング・サービス、スマートフォンアプリ等の企画開発等、映像コンテンツの企画製作及びメディア展開プランの策定・実行までを統合的に手掛けるファスト・エンタテインメント事業を展開し、新たな価値を社会に提供し続けることを事業活動の基本としております。このため、朝日放送グループホールディングスを親会社とする朝日放送グループの一員として、同社との関係において事業運営及び取引では自律性を維持しつつ、新規事業開発協力等を通じて同グループ各社と緊密な協力関係を保ち、その経営資源を有効に活用することで、サービスの提供を図っております。

親会社との人的関係につきましては、2019年9月末時点で、親会社グループの子会社から1名を出向者として受け入れております。当社の取締役9名のうち4名が同社の出身者または現職の役職員との兼務者で構成されております。

(2) 親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、リスク及びメリット、親会社等とそのグループ企業との取引関係や人的・資金的関係などの面から受ける経営・事業活動への影響等

親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、リスク及びメリット、親会社やそのグループ企業との取引関係や人的・資金的関係などの面から受ける経営・事業活動への影響等、当社が事業活動を行なううえで、親会社への承認事項などの制約はありません。また取引については、他の一般の取引と同様に、契約条件や市場相場などを勘案して決定しております。

(3) 親会社からの一定の独立性の確保に関する考え方及びそのための施策

当社の事業運営につきましては、自主・自立を基本原則としております。また親会社が当社独自の経営判断を妨げることはありません。

3. 支配株主等との取引に関する事項

当連結会計年度（自 2018 年 7 月 1 日 至 2019 年 6 月 30 日）

種類	名称	所在地	資本金 又は出 資金 (百万円)	事業の内 容	議決権等 の所有 (被所有) 割合 (%)	関連当事者と の関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
親会社	朝日放送グループホールディングス株式会社	大阪府 大阪市	5,299	認定放送 持株会社	(被所有) 直接 51.97	資本業務提携 契約の締結 役員の兼任等 があります	新株の発行 (注1)	2,772	—	—

(注1) 朝日放送グループホールディングス株式会社が、当社の行った第三者割当増資を1株につき126円で引き受けたものです。

4. 支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

当社の営業取引においてその大半は、親会社等の企業グループに属していない企業との取引となっており、また、当社の事業展開に当っては、当社独自の意思決定に基づき実行しております。また、親会社と少数株主の利益が実質的に相反するおそれのある親会社との取引等を行う必要が生じたときは、取締役会に付議し、慎重な審議のうえ、これを決定することとしておりますが、最近事業年度において該当する事項はありませんでした。

以 上